

## 《児童アンケート結果より》

本年度のアンケート結果から、ほとんどの項目で9割を超える児童が「よくできた」「まあまあできた」と肯定的な回答で、今年度も子どもたちの生活が、大変安定していると考えられます。

### 【地域（まち）や家での生活について】

「①家の人や地域の人に挨拶をしている。」という項目では、「よくできた」「まあまあできた」の合計は91%でした。安全リーダーさんをはじめ民生委員さん、少年補導委員さん、地域委員さんや保護者の方々のご協力の結果、子どもたちの中では「あいさつをしっかりしている」という意識はあるのだと思います。しかし、「進んであいさつができない」「あいさつをしても返ってこない」といった声も聞きます。自ら進んで気持ちよいあいさつができるよう、引き続き学校でも指導していきます。

「②交通ルールを守り、交通安全や不審者に気をつけている。」97%、「③家族とよく話をしている」は96%とこれらの項目については、例年と変わらず意識が高かったです。青山学区が安全な地域であり、地域の方のあたたかい見守りがあることが子どもの回答からうかがえます。また、日頃からご家庭でも子どもたちの声を聞いていただいていることが数字にも表れています。

「④家の手伝いをよくしている。」「⑤進んで整理・整頓をしている。」という項目については、例年「あまりできなかった」「できなかった」と回答する児童の割合が高く、約2割の子どもがそう答えています。「⑥忘れ物に気をつけ、宿題を最後までがんばっている」という項目については、毎年多くの児童の意識が高く、肯定的な回答が9割近くとなっています。これらの項目については御家庭と学校とが一緒になって取り組むことで、子どもたちをよりよく成長させることとなります。引き続き、ご協力をお願いします。

### 【学校生活について】

「⑦学校のきまりを守って生活している」の項目では、「よくできた」「まあまあできた」が、92%を示しました。ルールやマナーを守って生活する児童が多いことは、青山小学校の素晴らしいところです。お互いが気持ちよく学校生活を送るうえで大切なことです。今後もこの傾向が続くよう引き続き指導を続けていきます。

「⑧進んで発表したり、楽しく話し合ったりしている。」については82%の児童が肯定的に回答しており、「学び合い」を取り入れて学習を進めている成果が現れているものと考えております。友だちと共に学び合うことで、学習への意欲を高め、様々な考え方や価値観に触れることで自分自身の考えを深めることにもつながっています。しかしながら、「⑨先生の話をよく聞き、勉強がよくわかる」の質問では、7%の児童が「あまりできていない」と感じているという結果が出ています。この数字は重く受け止め、子どもたちの声や姿に耳を傾け、目を配りながら一人ひとりを大切にしながら指導していきます。

「⑩総合的な学習の時間では、楽しく活動したり調べたりしている。生活科では、楽しく調べたり発表したりしている。」では、94%を示しました。今年も、安全リーダーさんや地域ボランティアさん、様々な分野の講師、学芸員の方々を招いて、各学年で様々な学習が展開されました。地域の皆様のお力をお借りすることで、子どもたちも意欲に学習に取り組むことができました。

「⑪困ったことがおきたら、先生や家の人に相談している」では、82%でした。子どもたちの心の様子を丁寧に把握することを大切に考え、対話や「おしゃべり月間」をはじめ子どもたちと温かくきめ細かくかかわり、「何でも話せる友達、先生、学級」をめざし努力を重ねて参ります。子どもたちの息づかいを感じ、家庭と連携しながら、「やる気いっぱい・やさしさいっぱい・夢いっぱい」をスローガンに一人一人が輝く学校をめざしていきたいと考えています。